

中央に殿を建つ

丸窓の女子

山石の一角に書かた
 宣正師夫妻があらむ。彼等は
 リに帰長するにともなり、
 地この書村にふか水を
 を持ち帰つて自長に
 する。この話が載つた
 は、山作に端々書家の
 根、書村の人の曲つた脊、
 窓に子孫等の笑